

りゅうがく館だより

令和3年10月号



秋来ぬと目にはさやかに見えねども…とは言いますが、最近では少しずつ陽射しのやわらかさを肌で感じられるようになってきました。読書の秋、食欲の秋、芸術の秋、皆さんはどんな秋を楽しみますか？

《特別講座》

奄美ものづくり教室 開催します！

日時：令和3年11月14日（日）

9:00～12:00

場所：りゅうがく館 講堂

受講料：1,500円（当日徴収）

講師：安田 謙志 氏

（花ろまん染織工房）

準備するもの：プラストライバー

○ 先着10名まで

○ お子様連れでの参加も可能です

※詳しくは別日配布のチラシをご覧ください



おしらせ

りゅうがく館では、雑誌スポンサー制度を導入しています。りゅうがく館を通じて龍郷町の教育を応援して下さる企業・団体をお待ちしております！



～ 新着図書案内 ～

《一般書》

- 『硝子の塔の殺人』（知念 実希人/実業之日本社）
- 『認知症は接し方で100%変わる!』（吉田 勝明/IDP 出版）
- 『世界の名建築ヒストリア』（マグダレーナ・イエレンスカ/エクスナレッジ）
- 『WOMEN 世界を変えた偉大な女性たち』（キアラ・ジョンソン/ポプラ社）
- 『みんなで楽しむeスポーツ』（田養 健太郎/山川出版社）
- 『志麻さんの台所ルール』（タサン志麻/河出書房新社）
- 『難読漢字の奥義書』（円満字 二郎/草思社）
- 『老いの福袋』（樋口 恵子/中央公論新社）
- 『琉球ことばの書き方』（小川 晋史/くろしお出版）

他

《児童書》

- 『たいようがわらってる』（川平 慈英/学研プラス）
- 『おやすみなさい おばけのちーちゃん』（林 佳里/永岡書店）
- 『13歳からの食と農』（関根 佳恵/かもがわ出版）
- 『おべんとうバスのかくれんぼ』（真珠 まりこ/ひさかたチャイルド）
- 『10かいだてのおひめさまのおしろ』（のはな はるか/PHP 研究所）
- 『あきといえば…』（新井 洋行/アルファポリス）
- 『新聞をつくろう!』（菊池 健一/岩崎書店）
- 『日本史探偵コナン シリーズ』（青山 剛昌/小学館）
- 『じぶんでよめるしょくぶつずかん』（成美堂出版編集部/成美堂出版）

他

今月のおすすめ本

《一般書》

『奄美の自然入門』（常田 守/南方新社）

世界自然遺産として決定し注目を集める奄美大島。多種多様な動植物があり、固有種や絶滅危惧種だらけのこの島を、自然写真家と朝日新聞記者が案内します。

『蚊学入門』（一盛 和世/緑書房）

身近にいるけどなかなか詳しくは知らない蚊を生態や歴史、対策やおもしろ雑学など様々な視点で解説。人間社会では悪役になりがちな蚊の飼育方法まで教えちゃいます。



《児童書》

『ふうせんとはりねずみ』（新井 洋行/佼成出版社）

風船とはりねずみが出会ったら…パンッ！おばけと壁が出会ったら…スーッ。人気の絵本作家 新井洋行のユーモアたっぷりの赤ちゃん絵本です。

『すごすぎる天気の本』（荒木健太郎/KADOKAWA）

身近な空や雲、天気ですがじつは知らないことがたくさん！雲は何でできている？虹を見るにはどうしたらいい？空が青いのはどうして？などなど、様々な疑問に答えます。

